

ピタリット（株式会社カスタムテック）の技術概要

技術概要	
技術の仕様・製品データ	<p><b>【概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本技術は、牛乳紙パックを再生して製造した綴じ紐である。</li> <li>●綴じ紐については、これまで繊維製の紐や金属製のものであり、再生された古紙を原材料として使用し、貴重な資源の再利用領域を拡張する製品である。</li> </ul> <p><b>【仕様】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●対象とする書類伝票等に、2つの穴をあけて、本製品を2つ折りにして、両端をその穴に差し込み、裏返して張り付ける仕様である。</li> </ul>
特徴・長所・セールスポイント・先進性	<p><b>【特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●現在の本製品の使用用途は、長期に保存すべき各種伝票や書類を綴じることである</li> <li>●特許等は取得していないが、意匠登録済である。</li> </ul> <p><b>【新規性・先進性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本技術と競合する商品として、「トジスター」（ナカバヤシ）「バインデックス」（グローリー）、「たこ糸」等があり、取り扱いの簡便性、購入コストや作業にかかる人件費等、いずれにおいても、優位性を持っている。</li> </ul>
技術の原理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●牛乳パックを「紙撚紐用の原紙」に再生し、これを「紙紐バンド」として加工し、さらに両面テープを張って本製品は製造されたものである。</li> </ul>
技術の開発状況・納入実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>●金融機関を中心として全国 124 の顧客に提供</li> <li>●その殆どのお客様から、リピートの注文がある。</li> </ul>
環境保全効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在、日本においては、毎日 2,000 万本の牛乳パックが消費され、年間にすると 72 億本（29 万トン）になる。</li> <li>●その内、リサイクル率は 20 %程度である。再生紙の利用用途が拡大すれば、そのリサイクル率も伸長し、環境保全に資するものである。</li> <li>●本技術は、他の商品に比較して、コスト削減また人件費削減の面で優位性を持っているため、利用拡大の可能性を秘めている。</li> </ul>
副次的に発生する環境影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本技術の原材料である「紙撚紐用原紙」「紙バンド」及び「両面テープ」については、調達元から「安全データシート(SDS)」を受取り、安全性の確認を行っており、使用にあたって環境への悪影響や安全を脅かす事はない。</li> </ul>
実証項目（案）及びコスト概算	<p>本技術は、「<u>既存データによる実証</u>」を希望している。</p> <p>以下に既存データの試験概要、技術的条件、実証項目、試験結果及びコスト概算を示す。</p> <p><b>【試験概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●試験体(本技術)に引張荷重を加え、破断に至るまでの最大荷重を測定</li> </ul>

	<p>●試験実施は、令和元年 11 月 18 日にて実施した。</p> <p>【技術的条件】 特になし</p> <p>【実証項目・分析及び測定方法・実証する性能を示す値・試験結果】 実証項目及び試験結果等は、以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="336 488 1487 775"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 488 552 584">実証項目</th> <th data-bbox="552 488 799 584">分析及び測定方法</th> <th data-bbox="799 488 1007 584">実証する性能を示す値</th> <th data-bbox="1007 488 1487 584">試験結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 584 552 775">製品（本技術）の耐荷重の測定</td> <td data-bbox="552 584 799 775">試験体に引張荷重を加えて、破断に至るまでの最大荷重を測定</td> <td data-bbox="799 584 1007 775">241 (N)</td> <td data-bbox="1007 584 1487 775">使用用途において、十分な性能を有している。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【コスト概算】 既存データによる実証を希望しているため、コスト概算の記載はなし。 ※追加試験が必要と判断された場合、試験に係る費用等の負担について承諾済。</p>	実証項目	分析及び測定方法	実証する性能を示す値	試験結果	製品（本技術）の耐荷重の測定	試験体に引張荷重を加えて、破断に至るまでの最大荷重を測定	241 (N)	使用用途において、十分な性能を有している。
実証項目	分析及び測定方法	実証する性能を示す値	試験結果						
製品（本技術）の耐荷重の測定	試験体に引張荷重を加えて、破断に至るまでの最大荷重を測定	241 (N)	使用用途において、十分な性能を有している。						
<p>自社による試験方法及びその結果</p>	<p>特になし</p>								